

★ ウルトラリーグ 2010 対戦成績表 ★

ウルトラリーグ 2010 U-10

(勝点：勝=3、敗=0、分=1)

更新：2010.12.28

		1	2	3	4	5	6	7	8	勝	敗	分	勝点	得点	失点	点差	順位
1	F.C.HOTTS		1 ● 5	2 ○ 1	2 ● 3	0 △ 0	2 ○ 0	0 ● 2	6 ○ 2	3	3	1	10	11	13	-2	
2	FC東郷 A	5 ○ 1		3 ○ 0	2 △ 2	3 ○ 0	9 ○ 0	4 ○ 0	12 ○ 0	6	0	1	19	29	3	26	1
3	FC東郷 B	1 ● 2	0 ● 3		1 ○ 0	0 ● 7	6 ○ 0	1 ● 3	5 ○ 2	3	4	0	9	8	17	-9	
4	藤岡JFC	3 ○ 2	2 △ 2	0 ● 1				1 ○ 0	0 ● 2	2	2	1	7	6	7	-1	
5	イーストールFC A	0 △ 0	0 ● 3	7 ○ 0			7 ○ 0	4 ○ 3	8 ○ 0	4	1	1	13	19	6	13	
6	イーストールFC B	0 ● 2	0 ● 9	0 ● 6		0 ● 7		1 ● 4	2 ● 4	0	6	0	0	3	32	-29	
7	F.C.ピアンコ A	2 ○ 0	0 ● 4	3 ○ 1	0 ● 1	3 ● 4	4 ○ 1		6 ○ 1	4	3	0	12	6	5	1	
8	F.C.ピアンコ B	2 ● 6	0 ● 12	2 ● 5	2 ○ 0	0 ● 8	4 ○ 2	1 ● 6		2	5	0	6	7	37	-30	

「ウルトラリーグ」開催要綱

2004年10月吉日 作成
2008年4月1日 改訂
2010年4月1日 改訂

- 趣旨： 地域サッカーの普及・発展と選手・指導者相互の交流を目的に、ゴールデンエイジ・プレゴールデンエイジ年代の子供達を対象に、有志クラブで実施する。
- 名称 ウルトラリーグ (U-10、U-9、U-8、U-7)
- 主催 F.C.ピアンコ
- 対象 U-10(小4以下)……判り易くするために学年を書き加えているが、生年月日を基準とする。
U-9(小3以下)……同上
U-8(小2以下)……同上
U-7(小1以下)……同上
- 試合方法
- ①試合方式 8人制 (8人に満たない場合は、事前に対戦相手と協議し同意の上で同数で行う。)
U-10は、リーグ戦形式、U-9、U-8、U-7はフレンドリーマッチ形式とする。
 - ②試合時間 U-10、U-9:15分ハーフ(ハーフタイム5分) U-8、U-7:10分ハーフ(ハーフタイム3分)
会場使用時間などにより、試合時間を変更することがあります。
 - ③交代人数 自由 (インプレー中も審判の承認を必要とせず、センターラインとタッチラインが交差する付近から交代)
 - ④審判 対戦チーム毎の担当とする。
*基本的に主審1人制。主審1人+副審2人などは当該チームで話し合っで決めて可。
 - ⑤その他 日本サッカー協会発行「8人制サッカールールと審判法」に準ずるが、状況により柔軟に対処
例)フィールド、ゴールなどのサイズ、ピブス、コーンの使用、試合時間など
- 試合日程・会場 会場が決定次第、出欠の確認を取り、5日後以降に「試合票」を作成する。作成後の変更は認めない。
会場確保の都合により、当月2会場での実施も有り得る。会場管理は提供クラブが行なうこととする。
試合の取組みは、事務局より「試合票」によって連絡する。
U-10の未実施試合が残る場合は、対戦チーム毎に協議し別に日程を組む。
- 競技ルール
- ☆U-9は、U-10大会に向けた移行準備期間と捉えて、オフサイドルール及び、正しいスローイン等を徐々に覚える事を目的とする。
ただし、この年代は個人のスキルを高めるべき年代であり審判・指導者・保護者がこのことを理解し、ルールで縛り付けることなく育成全体像を意識した適切な指導を実践する場にしたい。
審判は、上記の趣旨に基づき、判定時には説明などを交えながら指導的に接するよう心掛ける。
- ①オフサイド U-10、U-9ではできるだけ正確に判定するが、U-8、U-7では、明らかな場合や得点などの大きな利益につながる場合以外は試合を止めない。
 - ②ファールスロー U-10、U-9は、正確に判定するが、U-8、U-7は、審判がその場で指導してやり直させる。
 - ③悪質なファール 選手のたくまじさを引き出し、コンタクトスキルを身につける為に、流せるプレーは流す事を基本とするが、悪質、及び危険なファールについては、審判がその場で注意し、繰り返すことのないように指導する。
 - ④その他 記載以外の事項については、日本サッカー協会の「競技規則」と「8人制サッカールールと審判法」に準ずる
- その他
- ①試合前で新たに取決めが必要な場合は、本リーグの趣旨に反しない範囲で互いのチーム責任者が合意すれば有効とする。
 - ②新規加入、カテゴリーの追加などの取決めは、メンバークラブの1/3以上の異議が無いこととする
 - ③メンバークラブは、本リーグが他の模範となり永続できるように、また、選手・保護者・その他の構成員にとって誇りとなるよう心掛け、臨機応変に対応し、努力する。
以上